



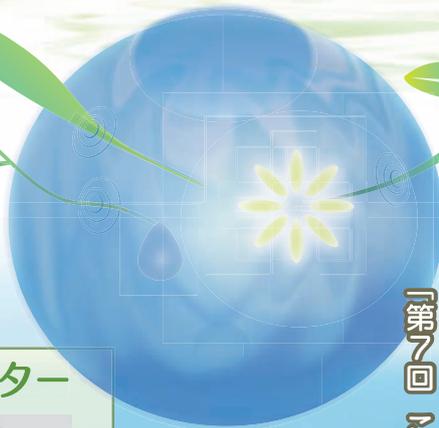
コスモスだより

【ニューストピックス】

眼科



白内障手術・硝子体手術の 手術応援で 診療の幅が広がります



大阪大学からの手術応援ドクター



大阪大学 大学院 医学系研究科
脳神経感覚器外科学講座
(眼科学) 主任教授
大阪大学医学部附属病院 眼科
診療科長
西田 幸二



大阪大学 大学院 医学系研究科
視覚先端医学寄附講座
寄附講座准教授
大阪大学医学部附属病院 眼科
丸山 和一

【お知らせ】

禁煙外来が始まりました

【ニューストピックス】

「第62回 市民公開講座」のお知らせ

「第30回貝塚市民健康まつり」のご案内

「リレー・フォーライフ」のご案内

「第21回病院祭」開催のお知らせ

機能評価最新バーション取得

人間ドック「脾臓・胆道系オプション」追加

「第7回 こすもす懇話会」の報告

病院の理念

基本方針

地域住民を守る良質な医療の提供

1. 医療を通じ患者さんの喜びが自らの喜びになるような職業人をめざします。
2. 常に技術の研鑽に努め、高度な医療の提供により、病気の早期発見・治療の充実をめざします。
3. 患者さんの治療には、各々の職務を結集したチーム医療をめざします。
4. 地域の医療機関と連携を密にし、信頼される中核病院として急性期医療をめざします。

眼科

白内障手術・硝子体手術の手術応援で診療の幅が広がります

院内増築改修に伴い、手狭だった眼科も昨年にはスペースを広げて中待ち合いも設置。快適に検査を受けていただけるようになりました。更に、手術応援の医師を招聘し、手術枠の拡大や新たに硝子体手術を開始するなど、診療の幅の拡大にも努めています。

手術の枠を拡大、手術待ちのご不便を少しでも解消

当院では、日帰り手術センターで白内障手術を多数行っています。しかし、手術待ちの患者さんも多く、ご不便をおかけしておりました。そこで、手術待ちを少しでも解消するため、金曜日の午後を手術日に追加。白内障の手術であれば、およそ5件程度の手術枠拡大となっております。手術枠拡大にあたり、当院の医師だけでは対応が困難なため、大阪大学から2名の医師に手術応援をいただいております。大阪大学の主任教授・准教授を務められるご高名な先生方にご協力いただけることに、大変感謝致しております。これを機に、思いを新たに日々研鑽してまいります。



眼科部長
藤井 節子

専門性の高い「硝子体手術」も新たに実施

「硝子体手術」は、糖尿病網膜症や網膜上膜など多くの疾患が対象となる治療法です。しかし、非常に専門性が高く、当院に通院されている患者さんで「硝子体手術」が必要になった方は、止むを得ず他院をご紹介しておりました。

今回、大阪大学から、この「硝子体手術」を数多く執刀されてきた丸山先生にお越しいただき、当院でも「硝子体手術」が可能となりました。この手術に必要な器機も新たに購入し、9月末からの実施を予定しております。手術応援という形ではありますが、連絡を密に取り合い、当院にてアフターフォローもしっかりとさせていただきます。

大阪大学からの手術応援ドクターのご紹介

世界的に高い評価を受ける、 角膜疾患・再生医療の権威

基礎研究から診察・手術まで手がけ、世界に先駆けた成果で受賞も多数



白内障
手術

大阪大学 大学院 医学系研究科
脳神経感覚器外科学講座（眼科学）主任教授
大阪大学医学部附属病院 眼科 診療科長
西田 幸二

《資格》日本眼科学会 専門医・指導医
《学会等役職》
日本眼科学会 理事 日本角膜移植学会 理事長
日本眼科医会 理事 日本アイバンク協会 理事
日本再生医療学会 理事 大阪アイバンク 理事

多数の手術実績を持つ 「硝子体手術」の専門家



白内障
手術

硝子体
手術

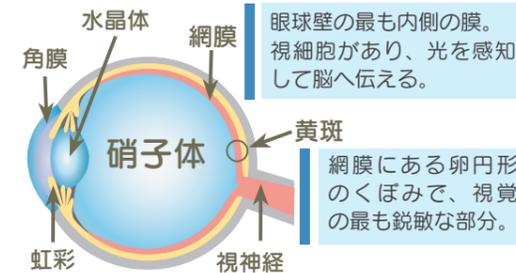
大阪大学 大学院 医学系研究科
視覚先端医学寄附講座
寄附講座准教授
大阪大学医学部附属病院
眼科 丸山 和一

《資格》
日本眼科学会 専門医
《学会等役職》
日本サルコイドーシス学会
評議員

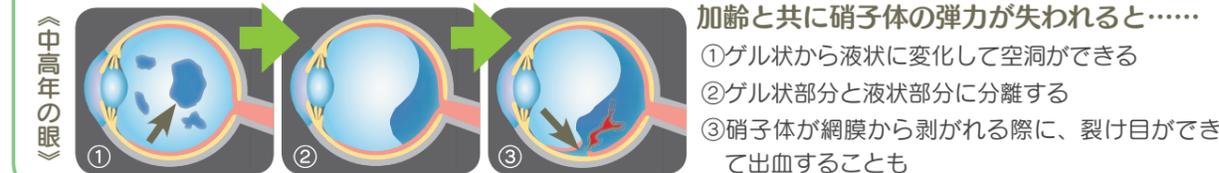
硝子体手術で「見える」暮らしを

硝子体とは

眼球の中にある透明なゲル（ゼリー）状の組織のこと。眼球の形を保ち、その弾性によって、外からの圧力や刺激を吸収して、眼球を守っています。眼に入った光は、この硝子体を通して網膜に届きます。この組織が炎症や出血などにより混濁することで網膜に光が届かなくなったり、網膜を引っ張って網膜に異常を起こすなど、様々な疾患を引き起こす原因となります。



加齢と共に避けて通れない、硝子体の老化と疾病発症のリスク

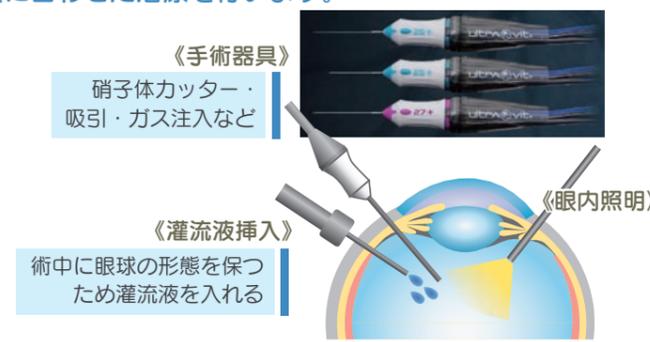


硝子体手術とは

硝子体手術の内容

- 出血や濁りを硝子体と共に取り除く
 - 悪い増殖組織を取り除く
 - 空気を注入し、はがれた網膜を元に戻す
 - 網膜の病変にレーザーを当てる
 - 感染した組織を取り除き、感染をくい止める など
- ※手術終了時に、眼内の状況に応じて、ガス・シリコンオイルなどを眼内に入れる場合があります。
※白内障の手術と同時に行うこともあります。

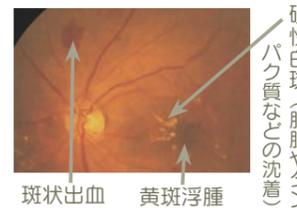
白目の部分に小さな穴を開け、手術器具を硝子体に挿入し、症状に合わせた治療を行います。



硝子体手術の対象となる疾患（眼球内の多くの疾患が対象となります）

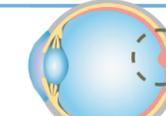
糖尿病網膜症 糖尿病の3大合併症のひとつ

緑内障と共に、失明原因の1位・2位を占める。糖尿病のため網膜の血管が損傷を受けることで、様々な眼球内疾患が発症します。



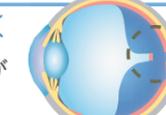
黄斑浮腫 黄斑部が腫れる

黄斑部に液状の成分が溜まり腫れた状態で、視野の中心が見づらくなる。



黄斑円孔 黄斑部の網膜に孔があく

歪んで見えたり、視力の著しい低下が起こる。



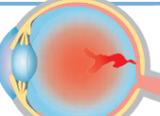
網膜上膜 網膜の表面に膜ができる

網膜が引っ張られて歪んで見えたり、視力低下が起こる。



硝子体出血 血液が硝子体にたまる

眼球内の出血で硝子体が濁り、飛蚊症や霧視、視力低下などが起こる。



眼内炎 眼の中で起こる感染症

眼の痛みや充血、視力低下や失明に至る場合もある。

禁煙外来が始まりました

「タバコを止めないと」とは思っている、どうしても手が伸びてしまう、止めたつもりでも、ちょっとしたきっかけでまた吸ってしまう……
ニコチン依存が強くなると、自分の意志だけで禁煙するのは難しくなってしまいます。
禁煙外来は、そんな『ニコチン依存症』の患者さんを、保険診療で治療する専門外来です。
患者さんそれぞれの喫煙状況に合わせた医師のアドバイスと禁煙補助薬の処方、禁煙時のつらい症状を軽減し、楽に禁煙を続けることができます。



止めたくても止められない喫煙習慣 — それは、治療とサポートが必要な病気です。

予約制

まずは『禁煙相談 (無料)』へ

慢性呼吸器疾患認定看護師などが
禁煙に関する相談をお受けします

【日 時】 第1・3火曜日 (各2枠)
① 13:30 ~ 14:30 ② 14:30 ~ 15:30

予約受付

【電話】 地域医療連携室 ☎ 072-422-5865

受付時間 / ●月・火・水・金 9:00 ~ 19:00
●木曜 9:00 ~ 17:00 ●土曜 9:00 ~ 12:00

【来院】 1階 総合案内へお声掛けください
受付時間 / ●月~金 9:00 ~ 17:00 ●土曜 9:00 ~ 12:00

禁煙外来の予約：禁煙相談担当の看護師が予約を取ります

その後『禁煙外来』受診へ

治療期間 12 週間、計 5 回の外来受診費用・
禁煙補助薬費用が健康保険適用となります。

【担当医】 内科医 堤 紀子
【日 時】 第2・4火曜日 (各2枠)
① 13:30 ~ 14:30 ② 14:30 ~ 15:30

スケジュール

「もう大丈夫」と自己判断で中止せず、最後まで受診を!



禁煙のすすめ

禁煙はできるだけ早く開始して

禁煙は、がん予防の大きく確実な一歩。禁煙してからの期間が長くなるほど、リスクが低下します。禁煙を考えているなら、「いつか」ではなく「今」から始めましょう。

青少年期からの喫煙はリスクが高い!

青少年期に喫煙を始めると、成人後に喫煙を開始した場合に比べ、同じ『※2) プリンクマン指数』でも、がんや虚血性心疾患などの危険性がより高くなります。ニコチンへの依存性もより高く、禁煙も難しくなります。若年で喫煙を始めた方こそ、先延ばしせず、早期に禁煙と向き合ってください。

失敗しても、くじけずチャレンジ

禁煙は、誰もが1度で成功するわけではありません。効果的な薬の研究も進んでいます。過去に失敗した方も、諦めず是非チャレンジしてください。

禁煙後の経過	禁煙の効果
20 分後	血圧と脈拍が正常値まで下がる。
8 時間後	血中の一酸化炭素濃度が下がる。
24 時間後	心臓発作の可能性が少なくなる。
数日後	味覚や嗅覚の改善。歩行が楽になる。
2 週間~3ヶ月後	心臓や血管など、循環機能が改善。
1~9ヶ月後	せきや喘息が改善。スタミナが戻る。気道の自浄作用が改善し、感染を起こしにくくなる。
1 年後	肺機能の改善が見られる。※軽度・中等度の慢性閉塞性肺疾患のある方
2~4 年後	虚血性心疾患のリスクが、喫煙を続けた場合に比べ 35% 減少。脳梗塞のリスクも顕著に低下。
5~9 年後	肺がんのリスクが明らかに低下。
10~15 年後	様々な病気にかかるリスクが非喫煙者のレベルまで近づく。

出典：厚生労働省 生活習慣病予防のための健康情報サイト「e-ヘルスネット」

禁煙外来を保険診療で受けるには条件があります

禁煙外来 (保険診療) の対象となるのは、次の条件の全てを満たしている方です。

- 直ちに禁煙したいと希望している方
- ニコチン依存症に係るスクリーニングテストでニコチン依存症と診断された方
→ 「※1) ニコチン依存症を判定するスクリーニングTDS」が5点以上
- 1日の平均喫煙本数 × 喫煙年数 『※2) プリンクマン指数』が200以上の方
* 35歳以上からの条件です
- 禁煙治療について説明を受け、その治療を受けることを文書により同意される方
- 1年以内に保険適用による禁煙治療を受けていない方
* 前回の治療の初回診察日から1年経過していれば対象となります

※1) ニコチン依存症を判定するスクリーニング TDS (Tobacco Dependence Screener)		はい 1点	いいえ 0点
Q1	自分が吸うつもりよりも、ずっと多くタバコを吸ってしまうことがありましたか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Q2	禁煙や本数を減らそうと試みて、できなかったことがありましたか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Q3	禁煙したり本数を減らそうとしたときに、タバコがほしくてほしくてたまらなくなることがありましたか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Q4	禁煙したり本数を減らしたときに、次のどれかがありましたか。 ・イライラ・眠気・神経質・胃のむかつき・落ち着かない・脈が遅い・集中しにくい ・手のふるえ・ゆううつ・食欲または体重増加・頭痛	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Q5	上の症状を消すために、またタバコを吸い始めることがありましたか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Q6	重い病気にかかったときに、タバコはよくないと分かっているのに吸うことがありましたか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Q7	タバコのために自分に健康問題が起きていると分かっているのに、吸うことがありましたか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Q8	タバコのために自分に精神的問題が起きていると分かっているのに、吸うことがありましたか。 * 精神的問題：禁煙や本数を減らした時に出現する離脱症状 (いわゆる禁断症状) ではなく、喫煙することによって神経質になったり、不安や抑うつなどの症状が出現している状態。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Q9	自分はタバコに依存していると感じることがありましたか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Q10	タバコが吸えないような仕事やつきあいを避けることが何度かありましたか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※2) プリンクマン指数 = 1日の平均喫煙本数 × 喫煙年数 例：15本 × 15年 = 225

喫煙が人体に与える影響は、吸い込んだタバコの煙の総量と密接な関係があります。プリンクマン指数はその総量を割り出す目安で、指数が高くなるほど病気の罹患リスクも高まります。

たばこの種類 (有害物質の含有量の違い)、吸い方 (肺まで深く吸い込むか) などにより、吸い込んだ煙の総量や影響は変わるため、プリンクマン指数は大まかな数値ではありますが、喫煙のリスクを考える上での、1つの指標として広く使用されています。

400 以上	肺がんの危険
600 以上	肺がん・肺気腫の高度危険
1200 以上	咽頭がんの高度危険

■「第62回市立貝塚病院 市民公開講座」のお知らせ

【テーマ】糖尿病のフットケアについて

【日時】9月20日(水) 13:30～15:00 ●手話対応有

【講師】糖尿病専門医 直克則
糖尿病看護認定看護師 仲上 静香

【場所】市立貝塚病院 7階講義室 【費用】無料(定員70名 要予約)

【申込・お問い合わせ】地域医療連携室 ☎072-422-5865

※1階総合案内でも予約受付しております。

※FAX受付:072-439-6061(お名前・連絡先・申込する講座テーマ・日程を記入のうえ送信してください)



平成29年
9月20日
(水)

■「第30回貝塚市民健康まつり」のご案内

市民が「自分の健康は自分でつくり自分で守る」という貝塚市の健康都市宣言に基づき、毎年開催される貝塚市民健康まつり。市立貝塚病院は、今年もブースを出して参加します。ご近所お誘い合わせのうえ、是非ご参加ください。

【日時】10月15日(日) 9:20～12:00 【場所】市立保健センター(保健・福祉合同庁舎)

平成29年
10月15日
(日)

■「リレー・フォーライフ2017 大阪二色の浜」のご案内

リレー・フォーライフは、がん征圧を目指し、がん患者や家族、支援者らが夜通し交代で歩き、勇気と希望を分かち合うチャリティーイベントです。市立貝塚病院は毎年このイベントに参加、講演会なども行っています。がんのサバイバーとして、支援者として、あなたも参加してみませんか。

【日時】10月28日(土)13:00開会式～29日(日)13:00閉会式

【場所】二色の浜 貝塚市民の森・シェルシアター



市立貝塚病院 看護師講演会

【日時】10月28日(土) 【場所】シェルシアター(野外ステージ)

「タバコとがん」 【講師】慢性呼吸器疾患看護認定看護師 杉山幸子

「乳がんと診断されたらお仕事どうしますか」

【講師】乳がん看護認定看護師 梅本郁奈子

平成29年
10月28日
(土)

■「第21回病院祭」開催のお知らせ

当院では、隔年で「大病院祭」「ミニ病院祭」を開催しており、今回は「大病院祭」の年にあたります。ロータリー前では「模擬店」や「もちつき」、院内では「ロビーコンサート」「講演会」「お楽しみ抽選会」等のイベントを行います。皆さま是非お越しください。

【日時】11月12日(日) 9:30～15:00



平成29年
11月12日
(日)

■機能評価最新バージョン3rdG:Ver.1.1を取得

病院機能評価は、公益財団法人日本医療機能評価機構が、病院組織全体の運営管理および提供される医療について、中立的、科学的・専門的な見地から評価を行うものです。当院では2002年以来継続して取得しており、今年4月には最新版の3rdG:Ver.1.1を取得しました。



■健診センター 人間ドックのオプションに「膵臓・胆道系オプション」が加わりました!

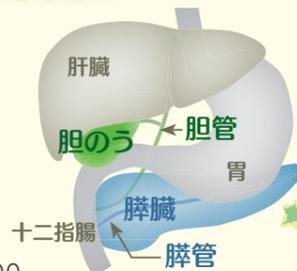
予約制

膵臓がんは日本人のがん死亡率第4位を占めている病気で、よほど進行しない限り自覚症状が現れることはありません。健診センターでは、この膵臓がんをはじめとした膵臓・胆のう・膵管・胆管関連疾患の早期発見に向け、新たに「膵臓・胆道系オプション」をご用意しました。

【内容】上腹部MRI検査(MRCP:磁気共鳴胆管膵管撮影)
血液検査(腫瘍マーカー:CA19-9)

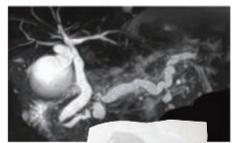
【料金】35,000円(税込) 【日時】月～金曜日の平日 10:00～12:00

【ご予約・お問い合わせ】健診センター ☎072-422-5865(代表) 9:00～16:00



●MRCP:磁気共鳴胆管膵管撮影= MRI装置を用いて、胆のう・膵臓・胆管・膵管を同時に描出する検査

MRI装置による検査は、放射線被曝がないこと、血管造影剤を使用せずに検査できることが特長です。MRCPにより、胆のうや胆管の結石、胆管や膵管の狭窄、膵臓にできたう胞などが分かります。これらは良性的な病気のこともありますが、がんの徴候であったり、がんに変化する可能性があります。



当院では、今年3月、MRI装置を磁場強度1.5テスラから3テスラに機器更新しました。磁場強度が上がることで、より微小な病変を発見しやすくなり、早期発見・早期治療につながります。



【3テスラMRI装置】

●腫瘍マーカー:CA19-9=特に膵臓がんや胆道がんの特異性が高い腫瘍マーカーの血液検査

腫瘍マーカーは、がんなど腫瘍が発生したときに血液中に増える特異物質のことです。

地域連携ニュース

■「第7回こすもす懇話会」のご報告

【日時】平成29年6月17日(土) 【場所】コスモシアター中ホール

【内容】一般講演:「姉妹発症した肝障害例」「地域連携パス～乳腺外科の取り組み～」

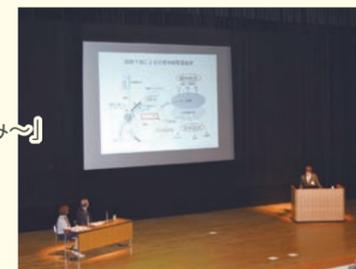
「当院における眼瞼下垂症の治療について」 当院医師3名

特別講演:「放射線を恐れてはいけない」

大阪大学医学部名誉教授 市立貝塚病院名誉総長 小塚 隆弘 先生

「最新の放射線治療について」

大阪大学大学院医学系研究科 保健学専攻医用物理工学講座教授 小泉 雅彦 先生



地域連携を進め、患者様のスムーズな治療に結びつけるため開催された「こすもす懇話会」は、当院・地域の医療機関の医師、歯科医師や訪問看護ステーションの職員が一同に会し、115名の参加者を迎えました。

講演会では、一般講演・特別講演をもとに活発な議論が行われました。講演会後の情報交換会には、貝塚市医師会の市川会長、歯科医師会の中林会長をはじめ多くの医療機関の方にご参加いただきました。連携する医療機関の先生方と直接お話ししてより良い連携に向けた情報交換がなされ、貝塚市の医療をこれからも一緒に担い守っていかうと、藤原貝塚市長の呼びかけのもと「エイエイオー！」で決意を新たにしました。

これからも、病病連携・病診連携を軸に、「地域住民を守る良質な医療の提供」に努め、地域医療をともに支えていきたいと思っております。

